

## 財政白書の具体的な策定方針

## 1 盛り込む内容(「白書の策定概要」より)

「これまで」 の部分	財政の基礎、決算状況(歳入・歳出)、財務分析(基金・市債・財政指標) 地方公会計、公共施設の現状と課題 など
「これから」 の部分	今後の財政収支見通し、今後の財政運営のための目標と取組方針、その他資料

※ 他市の財政白書では上記の「これまで」の部分だけを対象としているものが多い

## 2 「わかりやすい」財政白書とは

自治体 項目	神奈川県藤沢市 「わかりやすい藤沢 市の財政」	千葉県我孫子市 「我孫子市財政白書」	東京都北区 「北区財政白書」	(参考)明石市 「かんたんな 決算の説明書」
①対象 (誰にとってわかり やすいのか)	入門編:小学生向け 本編:大人向け	大人向け	大人向け	大人向け
②分量 (どの程度のボリュームにするのか)	32 ページ	92 ページ (うち、資料 10 ページ)	94 ページ (うち、資料 35 ページ)	14 ページ
③表現 (どのような見せ方 を取り入れるのか)	・入門編はマンガ形式で、漢字に振り仮名付き ・本編はイラストを多用、振り仮名なし	・文字、グラフ、表をバランスよく配置 ・文章量を抑え、要点を短文で説明 ・各項目の要点を 1 ページで完結	・文章量を確保して詳細な説明 ・トピックスをコラムで解説	
④誰にでも手に取ってもらえる工夫	・インパクトのあるネーミング ・表紙のデザイン ・適度な厚さ			
⑤その他 ・作成や毎年度の更新のしやすさ (費用・事務負担)	・更新の事務負担を考慮したグラフや文章構成 ・マンガ形式を用いて毎年度の数値や状況が変動する部分を解説する場合、状況に応じたコンテンツが必要となる可能性			